令和７年度(2025 年度)「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	唐津市立湊小学校 児童数　126 人

Ⅰ.取組前の宣言内容

宣言	目　標	本を好きになって、読書を楽しもう
	取組期間	令和７年(2025 年)　４月　１日　～　令和７年(2025 年)　年　11 月　30 日

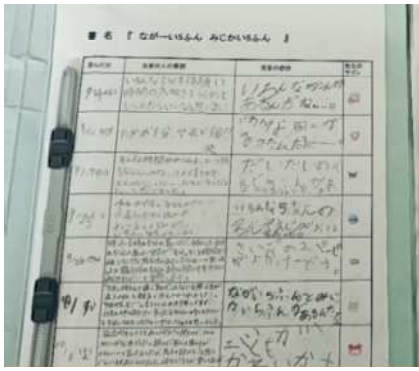
※令和７年(2025 年)4 月１日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和７年(2025 年)11 月 30 日までの取組みとする。

Ⅱ.取組後の評価

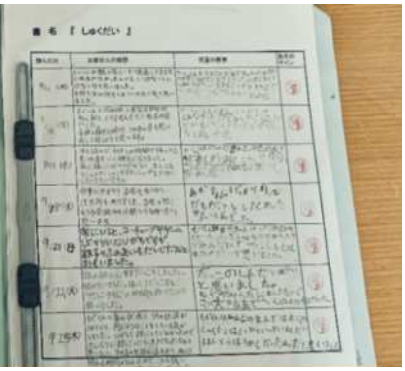
評価	取組人数	126 人	実施日数	244 日	読書冊数	9,692 冊	連携した団体数	3　団体
	取組内容（概要）	本を好きになる環境づくり 1、復活！家読（うちどく） 2、丁寧な目配り　本選びの支援 3、図書委員の取り組み 4、市の図書館とのつながり 5、地域の方・保護者のみなさんによる読み語り 6、本の紹介　①児童が読んだ本の紹介　②校長先生が本の紹介 7、新聞の活用 8、学校全体が図書館?!						
	工夫したこと	本を好きになる環境づくり 1、復活！家読（うちどく）リレー 　学習部の先生と協力して、『家読（うちどく）リレー』を２年ぶりに再開した。 各学年で学期に１回、担任が選んだ絵本 1 冊と記録用紙の紙ファイルの入ったブックバックを回し、読んだ日付と簡単な感想を、児童とおうちの方が記入する方法をとった。一緒に読んでいただくのは、大人の方ならどなたでもよい。おうちの人と絵本を読むことを通して、児童が読書を好きになってくれることと親子のコミュニケーションを深める時間が増えることを期待した。 2、丁寧な目配り　本選びの支援 　本校は本好きな児童が多い一方、年齢に合わない簡単な本や同じジャンルの本ばかりを借りる児童もみられる。司書は、児童が返却・貸出に列を作ると、カウンターでの対応に注力してしまうため、役割を分担し、貸出・返却は司書が行い、選書については、担任が児童の読書傾向を参考にアドバイスを行った。担任の先生による細かい目配りで、一人ひとりに合わせた本選びの丁寧な支援をすることができた。 3、図書委員会の取り組み 　昼休みのカウンターの仕事に加え、季節の本の展示や、図書館まつり（あじさいまつり：６月）（もみじまつり：11 月）を１週間ずつ開催した。児童がアイディアを出し合って、日替わりのイベントを開催し、多くの児童が参加して盛り上がった。 4、市の図書館とのつながり						

		（ァ）市の図書館司書さんによる読み語り 　本校の図書館まつりのイベントとして、市の図書館司書さんに来校を依頼した。普段と違う新鮮な本との触れあい方に児童が引き込まれた。学校司書も学ぶことが多かった。 （ィ）学級文庫 　年に 3 回、担任の先生が市の図書館に出向いて、学習や児童の成長に沿った本を 50 冊選び、教室の本棚に並べる。担任の先生が選ぶ本は、児童も興味をもって読んでいる。 （ゥ）市の図書館の本の活用 　国語の授業での読み広げや、平和集会・発表会で使用する本など、担任の先生から相談を受けて市の図書館へ連絡を取り、本を借りることで、授業や学校行事に活用できた。 5、地域の方・保護者のみなさんによる読み語り 　本校には読み語りボランティア「tonami」がある。4～11 月までに、のべ 34 名の方に参加いただいた。(3 学期も実施予定)。学校に置いていない絵本や紙芝居を紹介してくださった。児童の読書への興味の幅が広がっている。 6、本の紹介 　①学級ごとの読書の終わりに、読んだ本をクラスのみんなに発表してもらう時間を設けている。低学年には本の題名と作者を、高学年にはあらすじの紹介も行った。読んだ本の感動を周りの人と共有することで、読書が広がり、紹介することに楽しみを感じるようになった。今後、ブックトークにつながるよう期待している。 　②全校集会で校長先生から「読書の秋」と題して、読書をするとどんな良いことがあるか、また、自宅の本や図書室の本を紹介し、いつでも本が身近にあることを話していただいた。 7、新聞の活用 　図書館の入り口に、佐賀新聞と毎日小学生新聞を置き、希望する児童が、小学生新聞の中から気になった記事をお昼の放送で紹介した。記事をそのまま読むのではなく、クイズなどで興味を引くように工夫した。放送を聞いて、読みに来た児童もいた。今後、放送の回数を増やしたり、発表の方法を工夫して、さらに新聞を活用していきたい。 8、学校全体が図書館?! 　図書館の本は図書館だけに限らず、本たちが図書館を飛び出して全校のいろんなところで読めるようにしている。 　階段の踊り場には、SDG s のクイズに合わせた内容の本たち、校長室の廊下には、校長先生が自宅から持ってきた本たち、ホールには新しく入った本たちが展示してある。
	取り組んだ感想	・いつも偏った本を借りていた児童が、本の紹介や読み語りなどで、選ぶ本の種類が広がった。 ・昨年と比較して、活字に慣れ、じっくり読む児童が増えた。 ・図書の時間には、児童たちが自主的に本を紹介したり、紙芝居を読んでくれたりすることが増え、読書を楽しんでいる様子がうかがえた。 ・市の図書司書さんや読み語りボランティアさんの選書の幅の広さや語り口によって児童が引き込まれる様子は、学校職員も学ぶことが多かった。
	今後の取組予定 （令和 7 年(2025 年)１２月 ～令和 8 年(2026 年)３月）	・図書館の飾りや 1 冊 1 冊の本が引き立つディスプレイを工夫する。 ・児童新聞の紹介。児童が興味を持つための工夫。 ・これからも、先生方・保護者の方・地域の方々と連携し、本の楽しさを伝えられる取り組みをしたい。

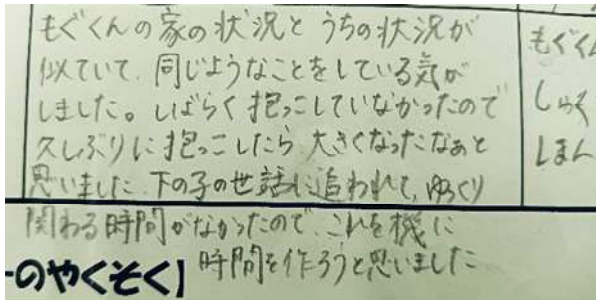
●家読（うちどく）ノート



1 年生の記述から



2 年生の記述から



おうちの方からの感想

●図書館まつり（もみじまつり）

手作りポスター

児童集会でもみじまつりの紹介

図書館担当の先生の指導により、工藤直子さんの詩「いっしょに」で図書館と本がそばにあることを、「ばけっこ」で本のよさと自分のための読書をよびかけて、図書館まつりに誘った。児童は手ぶりを交えて、内容が伝わるように暗唱した。

●図書館まつり　低学年クイズの様子

クイズは、低学年と高学年とで会場を分け、伝記や本の登場人物などのクイズをだしたり、予め図書委員が選んだ秋に関する本の中から問題を出す「秋の本クイズ」などを行い、読書につながる工夫をした。

●図書館まつり　じっくり読もうの部屋

「じっくり読もうの部屋」では、図書委員が選んだ本や自分が読みたい本をじっくりと読む、という取り組みをおこなった。
希望者が多く、図書室に入れなかった児童も、図書室横のホールで自主的に本を読んでいた。

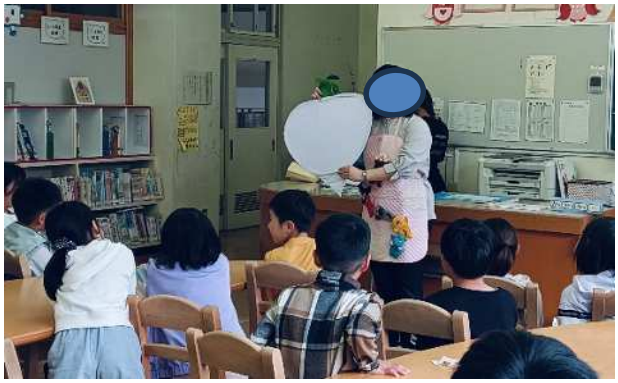
●図書館まつり　しおりコンクール

応募された作品は玄関ホールに展示

全校生徒からしおりを募集。季節を感じる作品や「図書館へ行こう！」というメッセージが書かれた作品などが並んだ。
作品は、リボンをつけて本人へプレゼントした。自分が作った特別なしおりで、読書の楽しみが増した様子だった。

2 年生の作品

●市の図書館司書さんの読み語り



エプロンシアター「おおきなかぶ」の様子

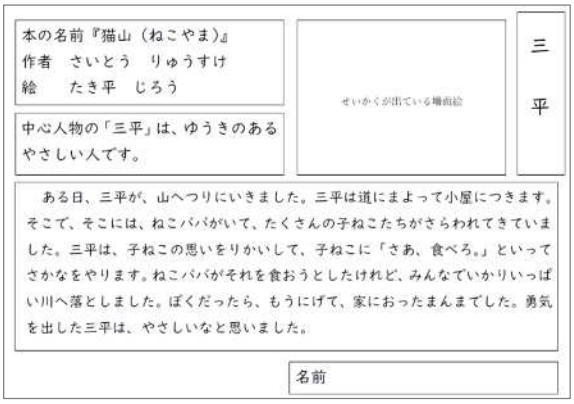
ピストグラムの本を使って、みんなでポーズを決めたり、くじで役割を決めて絵本を読んだりとアイディアが詰まっていた。

●学級文庫

読んだら丸をつけるリストも教室に掲示して、読書を促進している

●市の図書館の本の活用

市の図書館の本を活用し、3 年生の国語の授業で読み広げを行った。
斎藤隆介さんの本の中から 1 冊を選び、主人公の紹介文を書いて図書室に掲示した。



本の名前『猫山（ねこやま）』
作者　さいとう　りゅうすけ
絵　　たき平　じろう

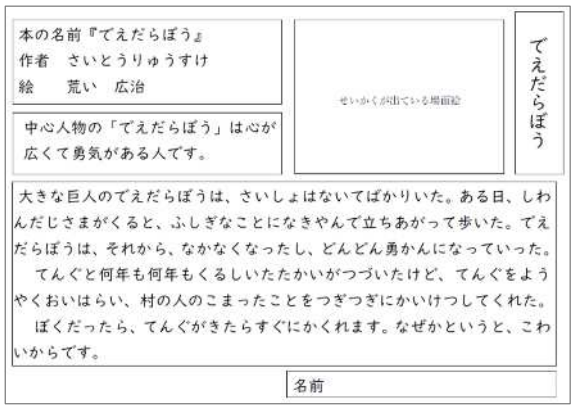
中心人物の「三平」は、ゆうきのあるやさしい人です。

せいかくが出ている場面絵

三平

ある日、三平が、山へつりにいきました。三平は道にまよって小屋につきます。そこで、そこには、ねこパパがいて、たくさんの子ねこたちがさらわれてきていました。三平は、子ねこの思いをりかいして、子ねこに「さあ、食べろ。」といってさかなをやります。ねこパパがそれを食おうとしたけれど、みんなでいかりいっぱい川へ落としました。ぼくだったら、もうにげて、家におったまんまでした。勇気を出した三平は、やさしいなと思いました。

名前



本の名前『でえだらぼう』
作者　さいとうりゅうすけ
絵　　荒い　広治

中心人物の「でえだらぼう」は心が広くて勇気がある人です。

せいかくが出ている場面絵

でえだらぼう

大きな巨人のでえだらぼうは、さいしょはないてばかりいた。ある日、しわんだじさまがくると、ふしぎなことになきやんで立ちあがって歩いた。でえだらぼうは、それから、なかなくなったし、どんどん勇かんになっていった。
　てんぐと何年も何年もくるしいたたかいがつづいたけど、てんぐをようやくおいはらい、村の人のこまったことをつぎつぎにかいけつしてくれた。
　ぼくだったら、てんぐがきたらすぐにかくれます。なぜかというと、こわいからです。

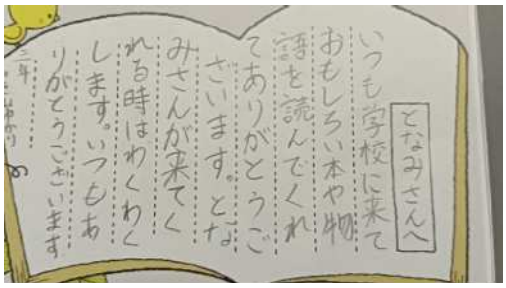
名前

児童が書いた紹介文

●地域の方・保護者のみなさんによる読み語り

毎回、年齢や季節にあった大型絵本や紙芝居を読んでくださっている。
長年、続けて参加してくださっている方も多く、児童の成長を見守っていただいている。

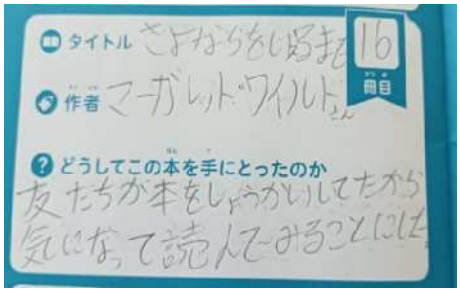
●全校朝会で校長先生から読書についてのお話

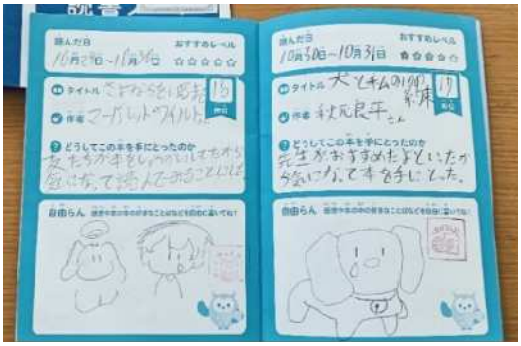


児童からボランティアさんへの感謝の手紙

●読書ノートの活用

県から頂いた「読書ノート」を活用し、自分が読んだ本の感想やイラストを楽しんで書いている。





●新聞の活用

上級生が、春には、「7 歳の交通事故を防げ」という記事を、夏には、「大阪・関西万博」で万博の歴史についての記事など、時事に合った記事を紹介してくれた。

図書館入口

●学校全体が図書室?!

階段の踊り場

校長室の前の廊下